

# 平成30年度 学校自己評価

八代白百合学園高等学校

学校教育目標	キリスト教精神に根ざした価値観を基礎として、国際社会・地域社会に奉仕できる女性の育成に実践的に取り組む。 校訓（従順・勤勉・愛徳）をベースに、文武両道（人間力アップと学力アップ）を目指す。
今年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な生徒各々に応じた学力向上を図り、進学実績を向上させる（生徒の可能性を見極め一人ひとりが進路目標を達成できるようサポート）</li> <li>アウトプット力の養成（思考力・判断力・表現力を培う）</li> <li>部活動・生徒会活動の振興、社会性とリーダーシップの養成（地域を連携した活動）</li> <li>特別支援教育の充実（建学の精神を基盤にした、特別支援教育・共生教育の充実）</li> </ul>

## 総括表

評価項目		評価の観点・目標	具体的な方策	評価	成果と課題
大項目	小項目				
学校経営	特色ある学校づくり	建学の精神の実践（カトリック精神に基づく教育の推進）	<ul style="list-style-type: none"> <li>校訓への理解度を深める教育の推進</li> <li>朝礼・終礼での祈りを通して自己と向き合う</li> <li>宗教的行事等の学校行事に保護者の参加を呼びかける</li> </ul>	A	学校生活の様々な場面で建学の精神に基づく啓発活動を行った。朝のサイレントアワーを通して心静かに自己と向き合うことの習慣化を図った。保護者の学校行事の参加については趣旨を理解してもらうことに努め更に参加者を増やしたい。
		姉妹校との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学旅行時に白百合女子大学への訪問を行い同じ建学の精神に学ぶ理解を深める</li> <li>各姉妹校へのビデオレターでの交流</li> <li>各姉妹校間の直接交流を図る</li> </ul>	A	大学訪問や、姉妹校交流等で生徒にも全国にある白百合学園が共通の建学の精神のもとに学んでいるという理解を深めることができた。教員のための姉妹校合同教育研修の実施により白百合の教育についての意識を共有することができた。
		コースの特色を生かした教育活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に取り組む</li> </ul>	B	学年会・全教職員での情報共有を強化することでより丁寧な対応を心がける。
	開かれた学校づくり	情報公開	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校HPの充実</li> <li>学内の適切な情報発信</li> </ul>	B	HPでは可能な範囲での情報公開について充実を図りたい。また学内での情報発信については保護者への授業公開や在校生・保護者・同窓会への学内広報をより充実したものに改善を図る。
		家庭との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者会総会、定例会の充実を図る</li> <li>保護者との連携強化</li> </ul>	A	保護者とのレクレーションを実施し連携強化に努めた。本校の教育活動についてより理解をしてもらうためにも積極的な情報提供を行う。
		同窓会、後援会や地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>12校園連絡会で地域学校との情報交換を積極的に行う</li> <li>情報発信の充実</li> <li>地域行事への同窓会との取り組み強化</li> <li>地域との充実した連携</li> </ul>	A	地域町内である井上町での夏祭りへの参加、花いっぱい運動、あいさつ運動、交通安全巡回等を行った。卒業生情報の収集と講話等有効な活用について同窓会との連携を強化したい。

学習指導	基礎学力の向上	個々の生徒の実態の把握による対応	・ 学力診断の実施	B	学力診断テスト結果に基づいた指導を行った。今後データを活用し学力向上へ向けた授業展開を検討する。
	学習習慣の確立	学習習慣の定着	・ 自律学習への構えをつくる	A	基礎学力定着のための学び直しの強化を図った。効果的な学習を提案できるように一人ひとりの生徒の状況把握に努めた。
	教員の指導力向上	教科指導力の向上	・ 研究授業による授業力向上	B	教員間で授業内容を評価し、意見の交換等を行い授業のクオリティ向上に努めた。校内研修をさらに充実したものとする。
進路指導	進路目標実現	進路意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 進路ガイダンスの実施</li> <li>・ 大学模擬授業の実施</li> <li>・ 進路講演会の実施</li> <li>・ 面談の充実</li> </ul>	B	オープンキャンパス（学校説明会）への参加を促進し、キャリア講演会の充実を図った。生徒・保護者に対する進路情報の積極的な提供を図る。また、出張講義や模擬授業について実施数を増やしたい。
		インターンシップの活性化	・ インターンシップマッチングの強化	A	協力企業の多様化について参加生徒の希望を反映することができたが、仕事の体験内容について協力企業との事前協議を充実させ、体験を通じてその職種への理解がより深まるものとした。
生徒指導	生活指導	品格ある白百合生としてのマナー指導	・ 挨拶、服装、時間の厳守等ルールとマナーが身につくよう整容指導の徹底	A	現場での指導を全教員が意識して行った。推進担当教員により生徒、教員のマナー意識の定着を図った。
		交通安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通学時の街頭指導を行う</li> <li>・ 交通安全指導での自転車交通講習</li> </ul>	B	自転車通学における携帯電話の使用について指導を徹底し交通安全意識の向上を図った。また街頭指導においてハザードマップの安全について周知を行った。
生徒指導	安全安心な環境づくり	いじめの未然防止、早期発見、早期対応	・ アンケートの実施	A	教職員で情報の共有について強化を図り未然防止に努めている。
	特別支援教育	特別支援体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの有効活用及び関係機関との連携強化</li> <li>・ 個別的教育指導・支援計画の策定</li> <li>・ ケース会議の充実</li> <li>・ 保護者との連携強化</li> </ul>	A	家庭との連携を強化することでスクールカウンセラーによるカウンセリングを促進した。また、生徒だけでなく保護者にもカウンセリングを受けることができることを周知した。担当者だけでなく学年毎の情報交換を定期的に行うことで情報共有に努めた。

特別活動	国際交流の推進	韓国姉妹校との交流 その他の国際交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の交流を展開する</li> <li>「総合的な学習」での韓国語講座の実施</li> <li>留学生の受け入れ促進</li> </ul>	B	アジア架け橋プロジェクトによる留学生をホームステイで受け入れることができた。グローバル視野を育成するための交流機会の充実を図る。
	ボランティア活動の推進	奉仕活動への理解を深める  心豊かな生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動への積極参加を促す</li> <li>各種支援施設との交流</li> <li>校内献金活動を通して他者への慈愛の精神の醸成</li> </ul>	A	学校周辺や通学で利用している駅の清掃活動を行った。すべての生徒が何らかの活動に参加することで、意識の高揚と学校生活の充実につなげたい。
	インターアクトクラブ活動の推進	地域奉仕プロジェクトへの参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域貢献の意義を学ぶ</li> </ul>	B	担当地域ロータリークラブの協力により、生徒会が中心となり取り組んでいる。他校合同研修等により、地域に根ざした活動を自分たちで考え実践する力を育てることができた。
	部活動	部活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国レベルの部活動への活動環境整備</li> <li>文化系部活動合同でスプリングコンサートを開催し地域へ向けた活動発表を行う</li> </ul>	A	文化部については地域からの依頼による各種展示や演奏発表等を行うことができている。これは学校の活動が地域社会に認められることであり、こうした活動を通じて生徒たちの心身の成長にもつながっている。

#### 次年度への課題および改善点

全ての生徒の学校生活が充実したものとなるように、授業の充実はもちろんのこと、部活動や奉仕活動、体験学習など充実させたい。

2019年度大学入試および次期学習指導要領の情報収集及び分析に取り組み、情報を共有し新テスト制度対応等進路実現に対して徹底指導ができる環境整備を職員全体で行う。それに伴う教科指導力や学級指導力において教員の資質向上を図る。